

北海道通信

昭和26年11月19日第3種郵便物認可
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊建設版

平成27年 第17124号
2月2日(月曜日)

発行所 札幌市中央区北5条西6丁目

株式会社 北海道通信社

☎(代) 222-3521 FAX 222-3532

発行人 松木慶喜

支社 東京6261・3822 旭川23267 函館527781

釧路235241 帯広237872 岩見沢235044

室蘭231736 網走233719 小樽230515

稚内237111 留萌222716 浦河22200

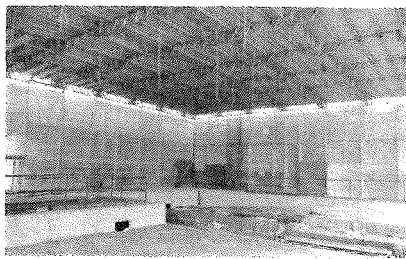
根室238028 江差220957 倶知安225013

(購読料) 1ヵ月 32,400円

土屋JVがプール建設現場で システム式の吊り足場採用

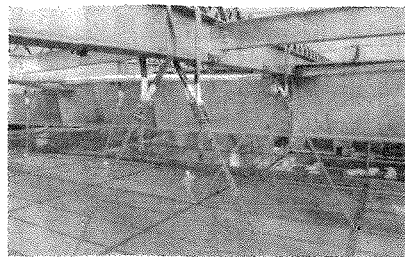
道内で初より安全な現場環境に

【網走発】土屋・中一・綜産業(株)製の「クイックテック」で、道内では初めて夏見・道北・笹森・そうけん・池端JVが施工している網走市民健康プール建設工事Ⅱ写真上Ⅱで、安全対策としてシステム式の吊り足場が採用されている。日



共施設の提供を目指している。

同工事は網走市発注で、現プール側の市営テニスコート付近に、新たにプールを建設するもの。計画ではRC造一部S造の二階建て、延床は約二千五百三十平方メートルとなっている。工期は三月二十日まで。一月二十九日現在で、約五七%



の進捗となっている。

現場で採用しているクイックテックは、システム式の吊り足場。専用の工具を使わず簡単に組み立て可能なもので、床を先行して設置することができる。地上で組み上げた床ユニットを吊り上げ連結させることもでき、工場などの整備で

いる。

同製品の導入は道内初で、雪国仕様のアルミ製の床版は全国初となっている。主梁からチェーンで吊り下げられた足場は、墜落・転落、飛来・落下の心配もなく、より安全な現場環境となっているⅡ写真下Ⅱ。

道内の販売代理店である日建片桐リース(株)を通して採用を決めた土屋工業(株)の野口昌美現場代理人は「現場では、上と下で同時に作業できるので、工期が大詰りを迎える中、非常に助かっている。墜落などはもちろん、落下物にも配慮しながら完工させたい」としている。

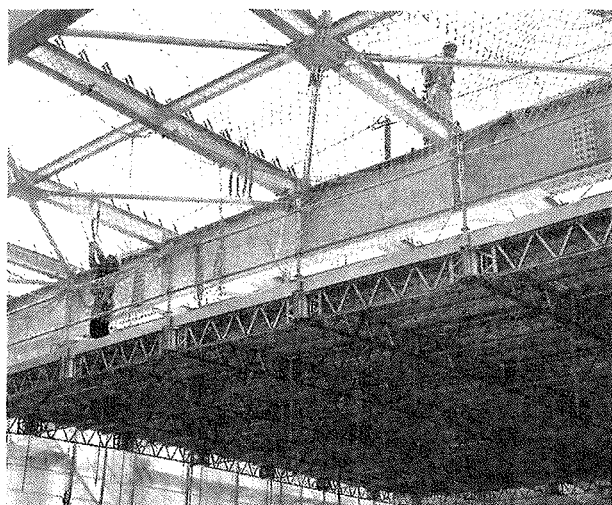
北海道建設新聞

発行所
北海道建設新聞社
〒060-0004 札幌市中央区
北4条西19丁目1番地11
TEL (011)811-6311
FAX (011)821-2913

旭川支社	(0166)	26-2541
小樽支社	(0144)	33-0161
小広支社	(0155)	22-0401
帯広支社	(0138)	52-3870
釧路支社	(0154)	41-3832
空知支社	(0126)	25-2444
小樽支社	(0134)	33-0866
室蘭支社	(0157)	23-4666
北見支社	(0143)	24-5188
室蘭支社	(0164)	42-2443
留萌支社	(0162)	73-1830
稚内支社	(0152)	44-2675
網走支社		

◎北海道建設新聞社2015

日綜産業「クイックデッキ」



足場設置が困難な箇所でも安全に取り付けられる

日綜産業(本社・東京、小野大社長)が2014年から販売しているつり足場「クイックデッキ」が好評だ。東海道新幹線改修などで実績があり、道内では網走市民健康プール改築の天井作業で初採用された。水平旋回式の組み立て方法で作業床を先行設置できるのが特長。足場担当者も安全性や簡便さを高く評価。函館アリーナ新築でも採用が決まるなど、道内でも浸透しつつある。

米国のセーフウェイ社が開発したクイックデッキ

安全性と簡便さが好評 道内でも浸透進む

キは、高強度チェーンとフレームにより、最大つりチェーンピッチは5層四方の広さを実現。従来の仮設方法と異なり、専用工具を必要とせず人力で迅速な組み立てができる。寒冷地にも対応し、床板にたわみが出ないよう通常は木材の部分をアルミ製にするなど配慮。道内では日建片桐リース(本社・札幌)が代理店を務めている。

網走市民健康プール改築を担当する土屋工業の野口昌美現場代理人は、天井作業と1階プール部分との同時施工ができるため、「使つと使わない」とでは2、3週間違うの

では「と工期短縮に手応えを感じている。設置時の安全を確保する上でも好評だ。足場組み立てを担当した木村組の古田力安全管理部長によると、作業床がつり点から水平に最大5層張り出せるため、身を乗り出した作業は少なくなったとのことで、「これまで難しかった箇所も安全に組み立てられる」。

日綜産業は今後、新設、メンテナンスを問わず、高層ビルの大空間吹き抜け工事や、造船における海上作業など従来品では対応できなかった分野への浸透を図る考えだ。

(網走)

日刊建設工業新聞

2月4日

水曜日

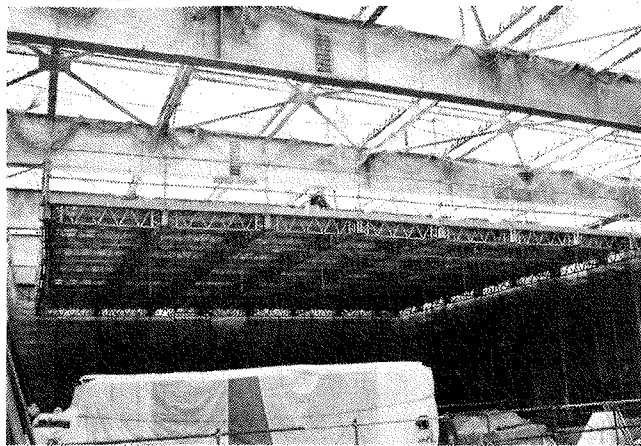
第18634号

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2015 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL:http://www.decn.co.jp/

ム場 全国規模で採用拡大 スリ 日綜産業 天井部の作業安全に シつ

日綜産業の新型システムつり足場「クイックデッキ」の採用が全国の建設現場に広がっている。常に床部分を先行して設置できるため、安全につり足場を組み上げられるのが特徴。床を最大5層跳ね出した状態で作業することが可能で、建物の天井部や鉄道高架の改修など従来の足場では作業が難しい条件下での引き合いが目立つという。昨年の市場投入以来、納入実績は販売・レンタル合わせて25件に上る。

同社は14年6月に米仮設資材メーカーと業務提携し、手すりや支柱、幅木などに独自の技術を組み込んだ日本仕様のクイックデッキの販売・レンタルを開始した。高強度部材などの使用により、つりチェーンの設置を最大5層間隔にし、広い作



網走市民プールの建設現場に導入されたクイックデッキ

業空間を確保できるメリットもあり、大型ショッピングモールや航空機組み立て工場、超高層ビル、新幹線高架、国道橋梁、駅ビルなどの幅広い現場で相次ぎ採用された。全国で導入が広がる中、北海道で初めて採用された現場は、網走市が

発注した「網走市民健康プール建設工事」（工期14年6月12日～15年3月20日）。現在地で建て替える工事で、新たな施設はRC二部S造2階建て延べ2533平方メートルの規模で、最高高さは8・9メートル。JVの代表として施工

を担当している地元土屋工業は、天井部分の塗装用足場（450平方メートル）として、クイックデッキの採用を決定。クイック

理店を務める日建片桐リースを通じて現場に納入した。野口昌美現場代理人は「工期が厳しい中、クイックデッキの採用により、2週間以上は作業をスピードアップできたと思う。天井部分と1階部分の作業が同時にできることも助かっている」と導入効果を話している。

間市と滋賀県東近江市の東西2カ所に自社製品の製造拠点を構えており、クイックデッキの製造ラインはフル稼働の状態が続いているという。同社広報室は「作業の安全確保に加え、機能性や施工性など従来製品を上回る特性が奏功している。現場の人手不足を補う効果もあり、引き合いが増えているのではないかと

している。

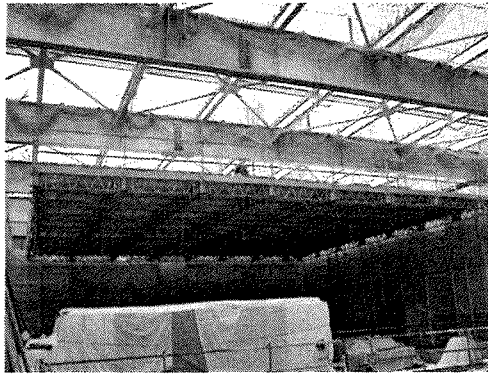
日刊建設産業新聞

発行所
日刊建設産業新聞社
本社 東京都板橋区板橋1-48-9
〒173-8710 電話 03(3961)1691(代表)
ファクス 03(3961)2251
(<http://www.kensan-news.com/>)
支社
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越
支局
埼玉、中部
© 日刊建設産業新聞社 2015

クイックデッキ雪国仕様

網走市で全国初採用 日綜産業

日綜産業(小野大社長)の新型システム吊り足場「クイックデッキ」のアルミ製床板を採用した雪国仕様様が北海道で全国初採用された。網走市発注の網走市民健康プール建設工事(施工・土屋工業JV)の天井部分塗装用足場として450平方メートル採用されている。写真。



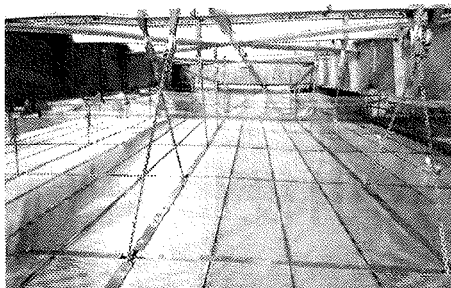
リースを通して納入されたもので、北海道地区の施工第1号となった。同工事は、網走公園内にある市民プールの建て替えるもので、RC造一部S造2階建て、延べ床2533平方メートル、最高高さ8.9メートルの新たなプール棟を建設するもの。工期は3月20日まで。

天井部分と1階のプール部分の作業が同時進行できるため、クイックデッキを採用したことによって作業を進める場合に比べて2週間以上の短縮ができた。施工者もこの部分を大変評価している。

クイックデッキは昨年6月に販売開始以来、大型ショッピングモールや航空機組立工場新築工事の天井工事、新幹線高架改修工事等に採用されており、既に25件の実績を挙げている。システム化されている床ユニットを常に床を先行して設置できるため、安全に吊り足場の組立てが可能。また、作業空間が広い、改修工事の場合は既存施設を稼働させながら工事が出来る等の特徴がある。日本国内で販売するにあたり、日綜産業ではオリジナル製品の基本構造の優位性はそのままに、同社の3Sシステムの機能追加するとともに、床材のたわみ防止を目的とする孫梁やアルミ製床板、オリジナル型幅木等の独自技術を追加し、日綜モデルとして販売・レンタルをしている。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2015



道初、網走市民プールに採用 日綜産業の吊り足場「クイックデッキ」

日綜産業の吊り足場「クイックデッキ」が、網走市発注の「網走市民健康プール建設工事」(施工II土屋工業JV)の天井部分の塗装用足場として北海道内で初めて採用され、工期短縮と作業の安全に寄与している。「クイックデッキ」は、日綜産業が米最大手仮設メーカーのセーフウェイ社と、日本で独占販売の業務提携をして、レンタル・販売を展開。人力のみの簡易な組み立て、トラス構造による高い強度、快適な作業空間の提供、跳ね出し作業床による安全かつスピーディーな施工の実現など、高い安全性と施工性・効率性を兼ね備える。今回の工事は、網走運

工期短縮、安全を実現

動公園内の市民プールC一部S造2階建て延べ2533平方メートルを建て替えるもので、建設現場の塗装用足場として450平方メートルに採用した。また、雪国仕様のアルミ製床版は全国初となる。主梁からチェーンで吊り下げられた足場は墜落・転落、飛来・落下の心配もなく、より安全な現場環境となっている。写真。道内の販売代理店の日建片桐リースを通して採用を決めた土屋工業の野口昌美現場代理人は「工期が厳しい中、2週間以上はスピードアップができた。また、天井と1階プール部の作業が同時に行えたことも大きい」と評価する。クイックデッキは昨年6月の発表以来、これまでに納入・稼働中の現場は25件を超え、さらに計画・引き合いが100件を突破。機能性・施工性が従来製品を上回っていることと、建設技能労働者不足に威力を発揮する点が好調の要因となっている。

